



# 教学IRレター vol.5

群馬大学 大学教育・学生支援機構

教育改革推進室 二宮 祐 (内線:7521)

2022年12月発行 (第5号)

## はじめに

大学教育・学生支援機構教育改革推進室では、各学部・学科による主体的な教育改革を支援するためのIR (Institutional Research) 活動を進めています。

今回は2019年度末から実施している「全学学習ふりかえりアンケート調査」の結果の一部を紹介します。この調査は全学の最終学年を除く学部生を対象として、毎年度末にその年度の学生生活についてお尋ねするものです。授業やその担当教員を評価するものではありません。回答する学部生本人の省察を促すことを目的の一つとしています。

## 1. 授業や勉強の様子

授業や勉強の様子に関して、図1は「授業の予習や復習をした」という設問へ、図2は「興味をもったことについて自主的に勉強した」という設問へ、それぞれ「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計についての推移を示したものです(この図を含めて以下のすべての図では留年生や途中学年からの編入生のデータを除いています)。

一般的に、これらの割合は上級生になるにつれて高くなります。たとえば、図1における19年度入学者の場合、19年度末調査で約68%、20年度末調査で約79%、21年度末調査で約86%です。

それに加えて、図1、図2ともに20年度末調査、21年度末調査では、2、3年生だけではなく、1年生の回答においても「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計が高いことが特徴的です。図2の19年度末調査ではどの年度の入学者も3割前後であった割合

が20年度末調査では8割前後になっています。必ずしも直接的な因果関係を示すことはできませんが、20年度から新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行へ対応するためにオンライン授業を導入したことによって、学生の学習の取り組み方が変容した可能性があります。

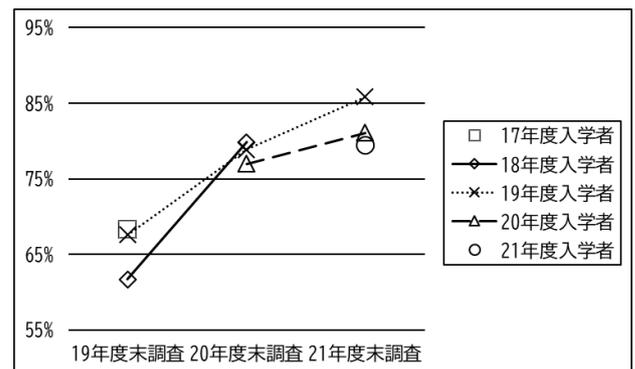


図1 「授業の予習や復習をした」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

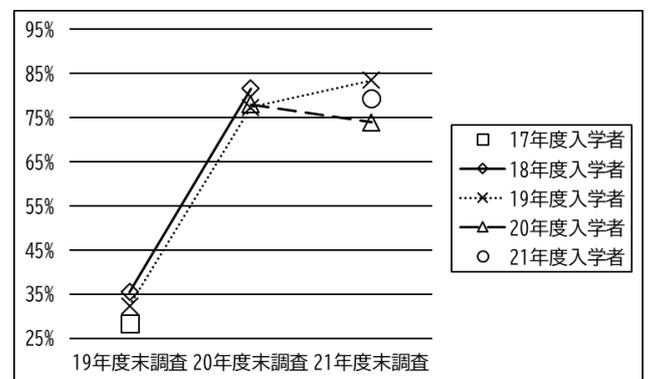


図2 「興味をもったことについて自主的に勉強した」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

## 2. 普段の生活

図3は普段に生活に関して、「勉強について相談できる友だちや先輩がいた」という設問に対して「とてもあてはまる」と「まああてはまる」と回答した割合の合計についての推移を示したものです。

20年度末調査において、その年度の入学者であった1年生の回答が約59%でした。キャンパスに来る機会が少なかったことによって、友だちや先輩とつながることが容易ではなかったと考えられます。対面形式の授業が増えた2年生になって回答した21年度末調査では約80%まで上がっています。

また、21年度末調査でのその年度の入学者であった1年生は約81%が勉強について相談できる友だちや先輩がいたと回答しています。19年度末調査でのその年度の入学者であった1年生の回答は約89%でしたので、オンライン授業導入以前の水準へ概ね回復したといえます。

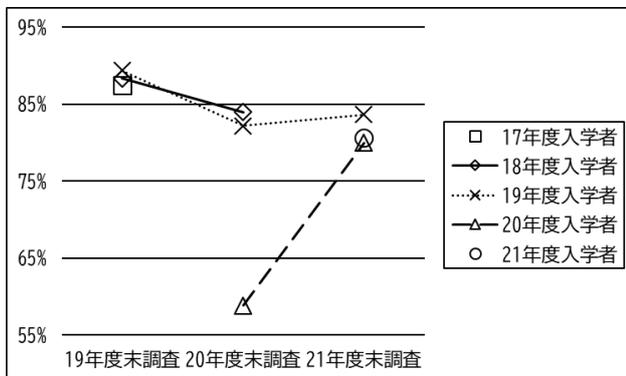


図3 「勉強について相談できる友だちや先輩がいた」という設問に対して「とてもあてはまる」「まああてはまる」と回答した割合の推移

## 3. 大学での学び方についての考え

大学での学び方についての考えとして、図4は「あまり興味がなくとも、単位を楽にとれる授業がよい」と「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」のうち後者を選択した割合の推移、図5は「自分のレベルに合った授業をしてほしい」と「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」のうち後者を選択した割合の推移を示したものです。

学年が進むにつれて、「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」の割合が高くなっていて、このことは他大学における同様の調査結果とも合致します。他方で、19年度入学者の場合、「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」とする回答の割合は2年生時点での20年度末調査のほうが1年生時点の19年度末調査よりも低くなっています。オンライン授業においては単位取得に対して慎重な姿勢になる場合もありそうです。

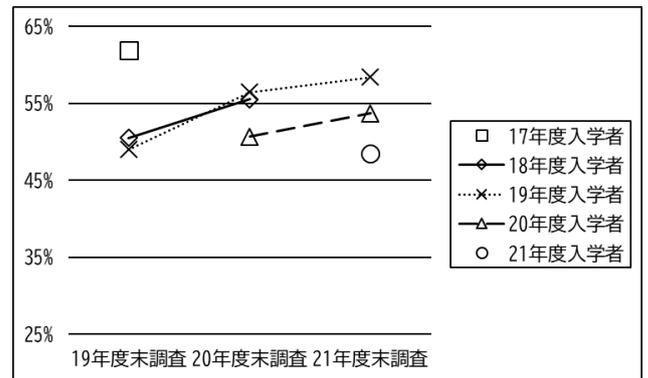


図4 「単位をとるのが難しくても、自分の興味のある授業がよい」と回答した割合の推移

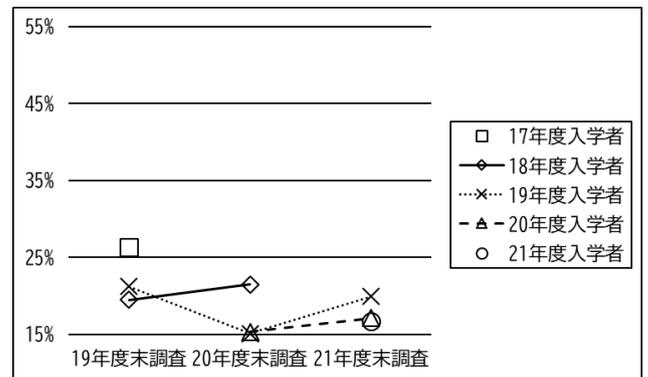


図5 「授業は難しくてもチャレンジなほうがよい」と回答した割合の推移

## おわりに

大学教育・学生支援機構教育改革推進室では、以上のデータなどについての詳細な分析、学部・学科毎の分析、教育改善や授業コンサルテーションのご要望を承っております。お気軽にご連絡ください。